

福岡市 障がい福祉に関するアンケート調査

はったつしょう じ しゃよう
【発達障がい児・者用】

【ご協力をお願い】

ひごろ ふくおかし ふくしこうじょう きょうりょく
日頃から福岡市の福祉向上にご協力をいただきまして、ありがとうございます。

ふくおかし しょう ひと ひつよう しえん う みずから のうりょく さいだいげんはつき
福岡市では、障がいのある人が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、

ちいき かてい せいかつ だい き ふくおかししょう
地域や家庭でいきいきと生活することのできるまちづくりをめざし、「第5期福岡市障

がい福祉計画」（平成30年度～令和2年度）および「福岡市保健福祉総合計画」（平成

ねんど れいわ ねんど もと しょう ふくししきく すす
28年度～令和2年度）に基づき、障がい福祉施策を進めております。

こんかい れいわ ねんどいこう しょう ふくしけいかく つく き そしりょう ふくおかし す
今回、令和3年度以降の障がい福祉計画を作る基礎資料とするため、福岡市にお住ま

いのはったつしょう しゃ じ かた せいかつ ようす ふくし たい いけん ようぼう
いの発達障がい者(児)の方に、生活の様子や福祉サービスに対するご意見やご要望など

について、アンケート調査を行うことといたしました。(900部配布)

かいとう けっか いけん かた ぜんたい なん かたち
ご回答いただいた結果は「このようなご意見の方は全体の何パーセント」という形で、

とうけいてき しょうり おこな なまえ かいとう ないよう ほか ひと し
すべて統計的に処理を行います。あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られること

はありませんので、安心してお答えください。

ちょうさ ふくおかし しょう ふくししきく じゅうじつ じっし
この調査は、これからの福岡市の障がい福祉施策の充実のために実施するものです。

てすう もう わけ りかい きょうりょく ねが
お手数をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたしま
す。

れいわがんねん がつ
令和元年9月

ふくおかし
福岡市

きにゆう ちゆうい
記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。質問文などでわからない表現や言葉がある場合は、お手数ですが、ご家族の方などに聞いて、お答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問は問4 1までありますが、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- 調査票・返信用封筒に住所やお名前を書く必要はありません。
- 各相談機関や親の会、学校や施設等にご協力をお願いしているため、複数の機関から「発達障がい児・者用のアンケート調査」が届く場合があります。その場合は、どれか一つにご回答ください。
- 調査票は、記入が終わったら、同封しております封筒（切手不要）に入れて、**10月15日（火）まで**に、郵便ポストに入れてください。
- ◆記入にあたって、ご不明な点がある方や支援が必要な方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

【調査に関するお問い合わせ先】

福岡市役所 こども発達支援課 実態調査担当
電話：711-4178 FAX：733-5534
E-mail：hattatsushien.CB@city.fukuoka.lg.jp

《送られてきた調査票についてお答えください》

- ①調査票はいくつ送られてきましたか。
1. 1通（この調査票だけ） 2. 2通以上
- ②2通以上送られてきた方は、何通送られてきましたか。
- （ ）通

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)
 ※性的違和を感じている方は、あなたの感じている性に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。

満 歳 (令和元年9月1日現在)

問3 あなたがお住まいの区はどこですか。(○は1つだけ)

1. 東区 2. 博多区 3. 中央区 4. 南区
 5. 城南区 6. 早良区 7. 西区 8. 市外

問4 あなたがお持ちの障害者手帳の種類と程度を教えてください。(①、②のそれぞれについて、○はあてはまるものすべて)

(それぞれあてはまるものに○)

障害者手帳の種類	手帳の有無	障がいの程度(手帳を持っている方)
① 療育手帳	1. 持っている 2. 持っていない	A1 A2 A3 B1 B2
② 精神障害者 保健福祉手帳	1. 持っている 2. 持っていない	1級 2級 3級

問5 あなたは、発達障がい^{はったつしょうがい}の診断^{しんだん}を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受^うけている

2. 受^うけていない

問5-1・2・3は、問5で「1.」を選^{えら}ばれた方^{かた}におたずねします。

問5-1 あなたが発達障がい^{はったつしょうがい}と診断^{しんだん}された機関^{きかん}は、どこですか。(○は1つだけ)

1. 医^{いいん}院^{びょういん}・病^{びょういん}院^{びょういん}

2. あいあいセンター、西^{せい}部^ぶ・東^{とう}部^ぶ療^{りょう}育^{いく}センタ^ー

3. こども総^{そう}合^{ごう}相^{そう}談^{だん}センタ^ー (児^じ童^{どう}相^{そう}談^{だん}所^{じょ})

4. そ^たの他^た ()

問5-2 あなたが診断^{しんだん}を受^うけた時^{とき}の年^{ねん}齢^{れい}を教^{おし}えてください。

満^{まん}

歳^{さい}

問5-3 あなたの診断名^{しんだんめい}を教^{おし}えてください。(○はあてはまるものすべて)

1. 注^{ちゅう}意^い欠^{けつ}陥^{かん}多^{たう}動^{どう}性^{せい}障^{しょう}がい (ADHD)

2. 学^{がく}習^{しゅう}障^{しょう}がい (LD)

3. アス^{しょう}ペ^{こう}ル^{ぐん}ガ^ーー症^{しん}候^{こう}群^{ぐん}

4. 自^じ閉^{へい}症^{しょう} (知^ち的^{てき}障^{しょう}がいを伴^{ともな}うもの)

5. 自^じ閉^{へい}症^{しょう} (知^ち的^{てき}障^{しょう}がいを伴^{ともな}わないもの)

6. 広^{こう}汎^{はん}性^{せい}発^は達^{たつ}障^{しょう}がい (知^ち的^{てき}障^{しょう}がいを伴^{ともな}うもの)

7. 広^{こう}汎^{はん}性^{せい}発^は達^{たつ}障^{しょう}がい (知^ち的^{てき}障^{しょう}がいを伴^{ともな}わないもの)

8. 知^ち的^{てき}障^{しょう}がい

9. そ^たの他^た ()

問6 あなたは、本来抱えている困難さとは別の二次的な情緒や行動などの問題を抱えていますか。(○は1つだけ)

※「不登校」「ひきこもり」「いじめ」「自傷・他傷」「破壊行動」などの問題を抱えていたり、PTSD・うつ・解離性障害・適応障害などの、発達障害とは別の症状を抱えていること。

1. 現在、二次的な情緒や行動などの問題を抱えている
2. 過去に二次的な情緒や行動などの問題を抱えていたが、現在は解消している
3. 二次的な情緒や行動などの問題は抱えていない

問6-1は、問6で「1.」「2.」を選ばれた方におたずねします

問6-1 二次的な問題について、相談機関や医療機関の利用状況を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

1. 現在、相談機関を利用している(具体的に:)
2. 現在、医療機関を利用している(具体的に:)
3. 過去、相談機関を利用していた(具体的に:)
4. 過去、医療機関を利用していた(具体的に:)
5. 相談機関や医療機関を利用したことはない

とい 問7 あなたの所属を教えてください。(○は1つだけ)

《 就学前の場合 》

- | | |
|-------------|--------|
| 1. 保育所(園) | 2. 幼稚園 |
| 3. 障がい児通園施設 | 4. 自宅 |

《 小学校の場合 》

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 通常学級 | 2. 通常学級＋通級指導教室 |
| 3. 特別支援学級 | 4. 特別支援学校 |

《 中学校の場合 》

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 通常学級 | 2. 通常学級＋通級指導教室 |
| 3. 特別支援学級 | 4. 特別支援学校 |

《 上記以外 》

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 高等学校 | 2. 特別支援学校高等部 |
| 3. 専門学校 | 4. 短大・大学・大学院 |
| 5. 就労中(アルバイト含む。5以降同じ) | 6. 以前就労していたが現在は無職 |
| 7. 就労経験なく無職 | |

生活状況についておたずねします

とい 問8 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 自分や家族の持ち家
2. 民間の借家や賃貸アパート・マンションなど
3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅
4. グループホーム
5. 入所施設
6. その他 ()

問9 あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか。あなたからの続柄でお答えください。(○はあてはまるものすべて)

- | | | | |
|--|------------------------------------|------------------------------|--|
| 1. 父親
<small>ちちおや</small> | 2. 母親
<small>ははおや</small> | 3. 祖父母
<small>そふぼ</small> | 4. 配偶者 (夫・妻)
<small>はいぐうしや おっと つま</small> |
| 5. 子ども
<small>こ</small> | 6. 兄弟姉妹
<small>きょうだいしまい</small> | | |
| 7. グループホーム、入所施設などの共同生活者
<small>にゆうしょしせつ きやうどうせいかつしや</small> | | | |
| 8. その他 ()
<small>た</small> | | | |
| 9. 同居者はいない (一人暮らし)
<small>どうきよしや ひとりぐ</small> | | | |

問10 あなたは、ふだん、身の回りの世話 (介助) を主にどなたにしてもらっていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|--|
| 1. 父親
<small>ちちおや</small> | 2. 母親
<small>ははおや</small> |
| 3. 祖父母
<small>そふぼ</small> | 4. 配偶者 (夫・妻)
<small>はいぐうしや おっと つま</small> |
| 5. 子ども
<small>こ</small> | 6. 兄弟姉妹
<small>きょうだいしまい</small> |
| 7. その他の家族
<small>た かぞく</small> | |
| 8. サービス事業者 (ホームヘルパー、グループホーム、入所施設などの支援員など)
<small>じぎやうしや にゆうしょしせつ しえんいん</small> | |
| 9. その他 () 10. 世話をしてもらわない必要がない
<small>せ わ ひつよう</small> | |

問10-1は、問10で「1.」～「7.」を選ばれた方におたずねします

問10-1 身の回りの世話 (介助) を主にしている方の年齢はいくつですか。

満

歳

(令和元年9月1日現在)

外出の状況などについておたずねします

問 1 1 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 週に4回以上 | 2. 週に3回 | 3. 週に2回 |
| 4. 週に1回 | 5. 月に1～2回 | 6. 外出しない |

問 1 1—1・2は、問 1 1で「1.」～「5.」を選ばれた方におたずねします

問 1 1—1 どのようなところに外出することが多いですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 仕事 | 2. 通所施設など | 3. 学校 |
| 4. 買い物 | 5. レジャー・スポーツ | 6. 美術館・映画など |
| 7. 親せきや友人を訪問 | 8. 病院・医院など | 9. 役所・相談所など |
| 10. 旅行・行楽 | 11. 散歩・散策 | 12. 食事・喫茶 |
| 13. その他 () | | |

問 1 1—2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車・バイク | 3. 自家用車 |
| 4. タクシー | 5. 地下鉄 | 6. JR・西鉄電車 |
| 7. バス | 8. 車いす | 9. その他 () |

問 1 2 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。

(○は5つまで)

1. 歩道がない道路に危険を感じる
2. 歩道に段差が多い
3. 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
4. 信号の変化がわかりにくく、危険を感じる
5. 障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない
6. ICカードの使い方がわからない
7. 障がい者用の駐車場が少ない
8. 障がい者用トイレが少ない
9. エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
10. エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない
11. 道路に自転車などの障害物が多い
12. 歩行者や走行自転車のマナーの悪さ
13. 外出に必要な情報が得られない
14. 付き添いをしてくれる人がいない
15. 困った時、まわりの人が助けてくれない
16. まわりの人の目が気になる
17. 外出に費用がかかりすぎる
18. その他 ()
19. 特にない

問 1 3 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用して
いますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 手話通訳者の派遣
2. 要約筆記者の派遣
3. 点字による支援（点訳）
4. 音声による支援（音訳）
5. 触手話や指点字による支援
6. 代筆や代読による支援
7. イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援
8. パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用
9. 情報・意思伝達機器による支援（具体的に： ）
10. わかりやすい日本語の使用（簡単な言葉を使う・漢字に読みがなをつけるなど）
11. 継続して関わっていることに伴い、あなたの意思をだいたい理解している人による
支援（ヘルパーなどによる支援）
12. その他（ ）
13. 何も利用していない

問 1 4 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。（○は1つだけ）

1. ある 2. ない

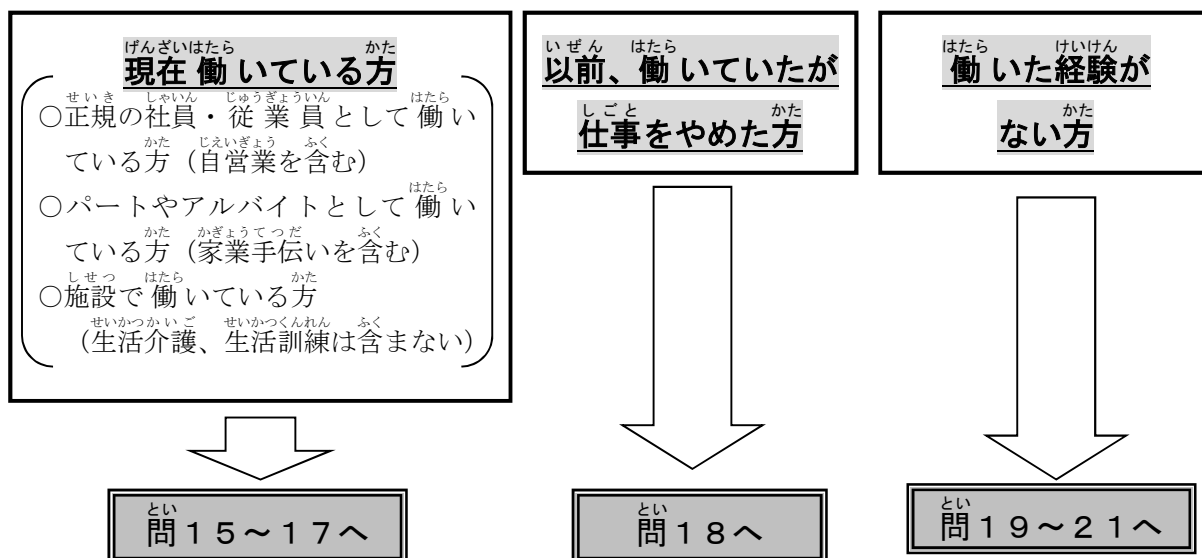
問 1 4 - 1 は、問 1 4 で「1.」を選ばれた方におたずねします

問 1 4 - 1 どのようなことで困っていますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 面と向かって人と話すのが苦手
2. 声や言葉がでにくいいため、自分の思いが伝わりづらい
3. 相手の話が聞き取りづらい
4. 手話を使える人が少ない
5. 音声による情報量が少ない
6. 写真や図表などの視覚情報の説明がされていない
7. 話をうまく組み立てられない
8. 難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい
9. どのように人とコミュニケーションをとればいいのかわからない
10. その他（ ）

就労の状況についておたずねします

問15～21は、18歳以上の方のみお答えください。また、あなたの現在の就労状況によって回答する質問が異なります。下記に従ってお進みください。



問15～17は、現在働いている方のみお答えください

問15 あなたの就労形態は何ですか。（○は1つだけ）

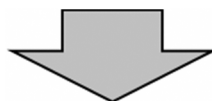
1. 自営業主
2. 家族従事者
3. 正規の社員・従業員
4. 臨時・日雇、アルバイト、パート
5. 派遣社員
6. 内職
7. 施設で働いている（就労継続支援事業所など）
8. 将来、企業などで働くため、施設に通っている（就労移行支援事業所など）

とい 問 16 どのような方法で仕事を探しましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. ハローワークからのあっせん (紹介)
2. 障がい者就労支援センターに支援してもらった
3. 地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターに支援してもらった
4. 学校、各種学校の紹介
5. 職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介
6. 施設(就労移行支援事業所など)に支援してもらった
7. ゆうゆうセンター(発達障がい者支援センター)に支援してもらった
8. 求人誌などで自分で探した
9. 家族、親せきの紹介
10. 家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた
11. 知り合いの紹介
12. 障がい者団体の紹介
13. 起業した
14. その他 ()

とい 問 17 あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 3,000円未満 | 2. 3,000円～5,000円未満 |
| 3. 5,000円～1万円未満 | 4. 1万円～3万円未満 |
| 5. 3万円～5万円未満 | 6. 5万円～10万円未満 |
| 7. 10万円～15万円未満 | 8. 15万円～20万円未満 |
| 9. 20万円～30万円未満 | 10. 30万円以上 |
| 11. 収入はない | |



とい 問 15～17を回答した方は、問 19へお進みください

問 18 は、以前 働 いていたが仕事をやめた方のみお答えください

問 18 仕事をやめた原因は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 障 がいや病気で身体的に 働 くことが 難 しくなったため
2. 職場や通勤経路のバリアフリー化が進んでいなかったため
3. 職場の人間関係が上手くいかなかったため
4. 仕事内容が自分には向いていなかったため
5. 職場で必要な支援を受けることができなかったため
6. 家庭の事情 (家事・結婚・育児など) のため
7. 倒産など会社の都合
8. 会社から解雇されたため
9. 定年退職のため
10. その他 ()

ここからは、^{ぜんいん}全員におたずねします

問 19 あなたは、今後、^{はたら}働きたい（^{はたら}働きたい）ですか。（○は1つだけ）

1. ^{はたら}働きたい（^{はたら}働きたい） 2. ^{はたら}働きたくない

問 20 発達障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。
（○は1つだけ）

1. とてもあると思う 2. ある程度あると思う
3. あまりあると思わない 4. あると思わない 5. わからない

問 20-1 は、問 20 で「3.」「4.」を選ばれた方におたずねします

問 20-1 発達障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1. 発達障がい者の働く場（雇用機会）が少ないため
2. 発達障がい者が働くための情報提供が進んでいないため
3. 発達障がい者が働くための相談機関が少ないため
4. 発達障がいへの理解が進んでいないため
5. 通勤経路のバリアフリー化が進んでいないため
6. 職場環境のバリアフリー化が進んでいないため
7. 雇用・労働条件の整備が進んでいないため
例：勤務時間、勤務日数の配慮、休憩時間の確保など
8. 障がい者雇用に関する制度が不十分なため
例：障がい者雇用の促進、雇用主への助成、支援員の不足など
9. 職業訓練機会が不足しているため
10. 障がいへの理解が進んでいないため（差別や偏見が残っているため）
11. その他（ ）

問2 1 どのような働き方や制度があれば発達障がいのある人が働きやすいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 工賃（収入）の増加
2. 在宅勤務
3. 短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮
4. 調子の悪いときに休みを取りやすくする
5. 配置転換などの人事管理面についての配慮
6. 通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮
7. 仕事（作業）の内容の簡略化などの配慮
8. 発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮
9. 仕事（作業）上の援助や本人・周囲への助言を行う者（ジョブコーチなど）による支援
10. 職場復帰のための訓練機会の提供・充実
11. 職業生活・生活全般に関する相談支援の充実（障がい者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター、ゆうゆうセンターなど）
12. 試しにいろいろな仕事（作業）を体験してみる（職場実習など）
13. 障がい者雇用のきっかけづくり（トライアル雇用※）
14. その他（ ）

※トライアル雇用：障がい者に関する知識や雇用経験がないことから、障がい者雇用をためらっている事業所に、障がい者を試用雇用（トライアル雇用）の形で受け入れていただき、本格的な障がい者雇用に取り組むきっかけづくりを進めるものです。

利用したいサービスなどについておたずねします

問 2 2 利用したいサービスなどについておたずねします。

(1) あなたは、これから、こんなことができたらいいな、必要だなと思うサービスや充実すべき施策は何だと思われますか。(○はあてはまるものすべて)

区 分	内 容
保育所(園) ・幼稚園	1. 保育士などの発達障がいに関する支援の専門性の向上 2. 療育機関からの専門的な助言・指導
学 校	3. 学校での特別支援教育支援員によるサポート 4. 教師の発達障がいに関する専門性の向上 5. 学齢期の療育的支援 6. 発達障がい児の放課後支援
仕 事	7. 職場の勤務内容や労働環境などを調整するジョブコーチの支援 8. 就労するための訓練 9. 就労の前段階の日常生活訓練(成人期の居場所や活動の場) 10. 実習を利用した職場に適応するための訓練 11. 発達障がい者の雇用に対する職場の理解啓発 12. 自動車運転免許の取得支援
けん 康	13. 続けて通院が必要な場合の医療費の助成 14. 発達障がいの早期発見と早期支援 15. 発達障がいに対する専門医(精神科医・小児科医)の育成 16. 発達障がいについて理解のある医療機関の育成
お 金	17. 経済的負担を軽減するための手当 18. 交通料金の割引 19. 税の控除
み 身の回り	20. 調理や洗濯、掃除などの家事援助 21. 育児の仕方について助言指導など 22. 区役所や病院などへ出かける際の付き添い 23. 行動上の問題のある子どもの外出に際し、保護者と一緒の付き添い 24. 保護者が病気、事故、出産などの際の子どもの一時的な預かり 25. 保護者が病気、事故、出産などの際の子どもの短期の宿泊 26. 余暇支援のためのボランティア育成 27. 健康管理、金銭管理などの日常生活支援 28. 行動上の問題で公共交通機関を利用できない人に対する保護者の 自家用車での送迎時の付き添い

次頁に続きます

く ぶん 区 分	ない よう 内 容
じゅう きょ 住 居	29. グループホーム（アパートなどでの世話人付きの共同生活） 30. 一人暮らしのための賃貸住宅のあっせん
そう だん 相 談	31. 就 職 に関する相談や仕事上の悩みの相談 32. 障 がい者の制度や手続きの相談 33. 障 がいの専門機関ではない身近な場所での育児相談の充 実 34. 兄弟姉妹などの家族を対象にした相談 35. 思春期・青年期の自己認知支援
その他	36. 先輩保護者が保護者を支援する相談員の育成と活用 37. 本人・保護者の希望を反映した個別の支援計画による幼児期から成人期 までの支援の継続 38. 障 がい児（者）の生活の拠点となる地域での受け入れ促進 39. 本人の特性や対応、相談や支援の経過など情 報をまとめたサポート手帳 の作成 40. その他（ご自由にお書きください。）

（２） （１）で回答したもののうち、最も力を入れてほしいことは何ですか。

（１）で回答したもののなかから１つだけ、選択肢の番号を記入してください。

（１）で回答したもののうち、
最も力を入れてほしいもの：

ばん
番

ばんごう
（番号は１つだけ）

今後の暮らし方についておたずねします

問23 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。
（○は1つだけ）

1. 一人で暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームなどの地域の中で仲間と共同生活できるところで暮らしたい
4. 障がい者施設に入所したい
5. 高齢者施設に入所したい
6. その他（ ）
7. わからない

問24 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 昼間の介護を頼める人がいること
2. 夜間の介護を頼める人がいること
3. 調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること
4. 子育ての相談が出来たり、手伝いを頼める人がいること
5. 緊急時に子どもを預けられる所があること（ご近所や、施設など）
6. 短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること
7. 主治医や医療機関が近くにあること
8. 病院や施設に通えること（作業、レクリエーション活動、訓練など）
9. 介護を受けながら日中活動を行う施設に通えること
10. 就労や生活の自立、機能の回復へ向けて訓練を受けられる施設に通えること
11. 施設で働けること
12. 仕事があること
13. スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること
14. ガイドヘルパー（外出の介護を頼める人）のサービスがあること
15. 家族と同居できること
16. グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること
17. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
18. 地域や職場の人たちが障がいについて理解があること
19. その他（ ）
20. 特にない

じょうほうしゅうしゅう そうだん
情報収集や相談についておたずねします

問25 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
 (○はあてはまるものすべて)

1. 障がい者に関わる福祉制度などのこと
2. ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関すること
3. 通所施設などの日中活動の情報に関すること
4. グループホーム、入所施設に関すること
5. 困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと
6. 診断や医療に関すること
7. 仕事の選び方などの就職に関すること
8. 文化・スポーツ・レクリエーション、レジャーなどの余暇活動に関すること
9. 仲間づくりが出来るなどの身近な居場所に関すること
10. 災害時の避難の仕方などの災害対策に関すること
11. ボランティア団体などのこと
12. その他 ()
13. 特にない

問26 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛かりとなっているのは、次のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 市政だより | 2. 新聞 |
| 3. テレビ・ラジオ | 4. ホームページ |
| 5. 団体の機関紙など | 6. 福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課) |
| 7. 保健所(区役所の健康課) | 8. 障がい者更生相談所 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 障がい者相談員 |
| 11. 通所または入所している施設 | |
| 12. あいあいセンター | 13. ゆうゆうセンター |
| 14. 区障がい者基幹相談支援センター | |
| 15. 計画相談支援事業所 | |
| 16. 福岡市情報プラザ(福岡市役所1階) | |
| 17. ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど | |
| 18. 手話放送、字幕放送 | 19. 精神保健福祉センター |
| 20. 西部療育センター | 21. 東部療育センター |
| 22. その他 () | 23. 特にない |

とい
問 27 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 体、心の健康や障がいのこと | 2. 家族のこと |
| 3. 生活費などの経済的なこと | 4. 障がい福祉サービスのこと |
| 5. 住まいのこと | 6. 通所または入所している施設のこと |
| 7. 仕事のこと | 8. 老後や将来のこと |
| 9. その他 () | |
| 10. 特にない | |

- 問 2 8 福岡市には、障 がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
- あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
- さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
- ①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

	認知度		利用状況		満足度			
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
記入例	①	2	①	2	①	2	3	4
①福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)、保健所(区役所の健康課) (身近な相談窓口として、各種障がい福祉サービスの利用などに関する相談に対応する)	1	2	1	2	1	2	3	4
②あいあいセンター(心身障がい福祉センター)、西部療育センター、東部療育センター (子どもの発達に関する相談支援や成人の障がい者の社会生活や就労支援などを行う)	1	2	1	2	1	2	3	4

	にんちど 認知度		りようじょうきょう 利用状況		まんぞくど 満足度			
	知し 知っている	知し 知らない	利用 したことがある	利用 したことはない	満足 している	やや 満足している	あまり 満足していない	不満 である
④区障がい者基幹相談支援センター （市内14か所のセンターで、 障がいがある人の在宅生活 全般に関する相談支援を行う）	1	2	1	2	1	2	3	4
⑥ゆうゆうセンター （発達障がい者支援センター） （発達障がいのある人に対し て総合的な相談支援を行う）	1	2	1	2	1	2	3	4
⑦福岡市障がい者110番 （差別の解消や、権利擁護に関 する相談などに対応する）	1	2	1	2	1	2	3	4
⑧身体障がい者相談員、知的障 がい者相談員 （障がいのある人の日常 生活上の様々な問題につ いて、地域の相談員が相談に 対応する）	1	2	1	2	1	2	3	4

	にんちど 認知度		りようじょうきょう 利用状況		まんぞくど 満足度			
	知し 知っている	知し 知らない	利用 したことがある	利用 したことはない	満足 している	やや 満足している	あまり 満足していない	不満 である
⑨ 民生委員・児童委員 障がいのある人の日常生活上の様々な問題について、身近な地域で民生委員・児童委員が相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑩ 障がい者就労支援センター 障がいのある人や家族、企業などの相談に応じ、「ジョブコーチ」を派遣したり、職場を開拓するなどの支援を行う	1	2	1	2	1	2	3	4
⑪ 社会福祉協議会 生活福祉資金の貸付や日常生活への支援、ボランティア利用など、様々な生活の相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑫ 精神保健福祉センター 専門相談窓口として、「医療、福祉などに関する相談に対応する」	1	2	1	2	1	2	3	4

問 29 あなたの^{きんじょ}ご近所の方との^{かんけい}関係は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

1. 何か^{なに}困ったときに^{たす}助け合う^あ親しい^{した}人^{ひと}がいる
2. たまに^{いえ}家を^{ほうもん}訪問し^あ合う^{ひと}人^{ひと}がいる
3. 立ち^た話^{ばなし}をする^{ていど}程度^{ひと}の人^{ひと}ならいる
4. あいさつをする^{ていど}程度^{ひと}の人^{ひと}ならいる
5. ほとんど^つ付き合い^つはない

問 30 ここ2～3年の^{ねん}間、^{あいだ}地域^{ちいき}での^{ぎょうじ}行事^{ちやうないかい}(町内会などが^{じっし}実施^{ぼうさいくんれん}する防災訓練、^{なつまつ}夏祭りなど)に^{さんか}参加^{さんか}したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|--|
| 1. ^{さんか} 参加 ^{さんか} している | 2. たまに ^{さんか} 参加 ^{さんか} している |
| 3. ほとんど ^{さんか} 参加 ^{さんか} していない | 4. ^{さんか} 参加 ^{さんか} していない |
| 5. そのような ^{ぎょうじ} 行事 ^し があることを知らない | |

問 31 あなたは、^{ちいき}地域^{かた}の方が何か^なボランティア活動^{かつどう}をしたいと思^{おも}っている場合、どのよ^{ばあい}うな^{しえん}支援・^{こうりゅう}交流^{おも}があったらいいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. ^{かんたん}簡単な^み身の^{まわり}周りの^せ世話^わをする
2. ^{がいしゅつじ}外出^つ時に^そ付き^そ添^そう
3. ^{ふだん}普段^{ていきでき}から^{こえ}定期的に^{こえ}声^{こえ}かけ^{こえ}などをする
4. ^{そうだんあいて}相談^{そうだんあいて}相手^{そうだんあいて}になる
5. ^{せけんばなし}世間話^{いっしょ}をして^す一緒^すに^す過^すごす
6. ^{ちいき}地域の^{ぎょうじ}行事^{いっしょ}や^{さんか}イベント^{さんか}に^{さんか}一緒^{さんか}に^{さんか}参加^{さんか}する
7. ^{しゅみ}趣味^{かつどう}や^{いっしょ}スポーツ^{いっしょ}活動^{いっしょ}を^{いっしょ}一緒^{いっしょ}に^{いっしょ}する
8. その他 ()
9. ^{とく}特^{とく}にない

問32 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 災害の情報を知らず方法がない
2. 助けを求める方法がない
3. 近くに助けてくれる人がいない
4. 一人では避難できない
5. 避難所の設備が障がいに対応しているか不安
6. 避難所で必要な支援が受けられるか不安
7. 避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい
8. 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
9. 医療機器の電源確保が心配
10. 特にない
11. その他 ()
12. わからない

問33 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている
3. 疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
4. 近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている
5. 「避難行動要支援者名簿」に登録している
6. その他 ()
7. 特にない

問34 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 同居どうきょの家族かぞく
2. 同居どうきょしている家族以外かぞくいがいの親族しんぞく
3. 友人・知人ゆうじん　ちじん
4. 頼る必要たよ　ひつようがない（自力じりきで避難ひなんなどができる）
5. 頼れる人たよ　ひとがいない
6. その他（た）

問 3 5 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。(○は1つだけ)

1. かんじている
2. どちらかといえばかんじている
3. どちらかといえばかんじていない
4. かんじていない
5. わからない

差別や人権についておたずねします

問36 あなたは、ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある

2. ない

問36-1は、問36で「1.」を選ばれた方におたずねします

問36-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。

(○はあてはまるものすべて)

1. 病院・診療所などで診察を断られた
2. バス、電車、タクシーなどの乗車拒否にあった
3. 家を借りる時に不動産業者や家主に断られた
4. ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた
5. 障がいを理由とした不採用や解雇
6. 役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした
7. 相談機関・相談窓口に行った時、職員の対応で不愉快な思いをした
8. 学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた
9. ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの対応で不愉快な思いをした
10. 入所・通所している施設職員及び他の利用者の対応で不愉快な思いをした
11. バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした
12. 近所の人達の対応で不愉快な思いをした
13. その他 ()
14. 思い出せない

問37 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 障がい者の意見や行動が尊重されないこと
(結婚、就職に際しての周囲の反対など)
2. 差別的な言動を受けること
3. 聴覚や視覚に障がいのある人などへ必要な情報を伝える配慮が足りないこと
4. 発達障がいの特性から生じる困難さに対し、配慮がなされないこと
5. 人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと
6. 道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと
7. 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
8. 住宅を容易に借りることができないこと
9. 就職・職場で不利な扱いを受けること
10. 役所の窓口において不当な扱いを受けること
11. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受けること
12. 使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと
13. 学校における一人ひとりの障がい特性に応じた支援体制が不十分なこと
14. 詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと
15. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
16. その他 ()
17. 特になし

問38 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実
2. 就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）
3. 施設で働ける場（就労継続支援事業所など）の充実
4. 居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実
5. 年金など、所得保障の充実
6. グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備
7. 困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実
8. 乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり
9. 障がい者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリーの推進など）
10. 文化・スポーツなどを通じた社会参加の支援
11. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実
12. 介護や訓練が受けられる施設（入所・通所）の充実
13. 支援者の養成や質の向上
14. 行政自体の設備や手続きなどを含めたバリアフリーの推進
15. その他（ ）
16. 特にない
17. わからない

問39 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 障がいに対する理解を深める
2. 障がい者をはじめ、困っている人を支える地域活動やボランティア活動を活発にする
3. 地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する
4. 電車やバスなどの公共交通機関や建物、店舗、住居などを障がい者が利用しやすいようにつくる
5. 企業で障がい者を積極的に雇用する
6. 障がい者施設などで作ったものを購入する
7. その他（ ）
8. 特にない
9. わからない

問40 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない
5. わからない

問41 障がい者福祉についてご意見がありましたら、自由に記入してください。

◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。(○は1つだけ)

1. 本人が全部回答または記入した

2. 他の人が本人の意思を確認しながら記入した

3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答または記入した

4. その他 ()

「2. 他の人が本人の意思を確認しながら記入した」

「3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答または記入した」

えら かれた方におたずねします

◎この調査票を回答した方の続柄は何ですか。ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つだけ)

1. 父親

2. 母親

3. 祖父母

4. 配偶者(夫・妻)

5. 子ども

6. 兄弟姉妹

7. その他の家族

8. サービス事業者(ホームヘルパーなど)

9. その他 ()

◎調査票への回答記入にあたって、困ったことやその他何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。